

事務部会

研究主題 各校の実践に学び事務処理能力向上をめざす

1 主題について

各校で取り組んでいる『日常業務について』～そこからお互いに学び合うことで、今後の事務処理能力の向上につなげる。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月13日 (水)	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	11月9日 (水)	第2回総合研究会事務部会

3 研究内容

(1) 一人一研究

- ・期 日 平成23年11月9日(木)
- ・会 場 大館市中央公民館

特殊業務3号についての妥当性の判断は、他に委ねるにせよ、問題への切り込み方は大いに見習うべき姿勢だと思われる。寒冷地手当の世帯主認定(特にダブルC認定)への対応は頭の片隅に入れておきたいものである。旅費請求の事務職員自身の工夫は、二重払いの防止や予算執行の上で必要不可欠である。私費会計処理について各々工夫されているが、さらに進めて、事務職員また教員の負担軽減に寄与すべきである。節電への取り組みや、何気ない校舎・備品への心配りも継続することの重要性を改めて感じた。中学校の修学旅行は県費の旅費だけでは不足し、市の補助金が重要な経費となっている。補助金をいただいても業者への支払いには足りず、学校毎の負担が引率者一人当たり7千円を上回っている。今後も市のご理解を得、継続補助をお願いしたいものである。



【第2回総合研究会事務部会】

4 成果と課題

(1) 成果

- ・各校の実践紹介は多岐にわたり、参考となる事例が多々あった。また、A4、1枚程度とはいえ資料作成の過程で改めて日々の業務を見直すいい機会となった。

(2) 課題

- ・深く掘り下げる話し合いに持ち込むことができなかった。その原因は事前の打ち合わせ不足と進行の仕方ではなかったかと、反省した。主題の目的を少しでも達成するためには、総花的な会ではなくテーマをもっと絞り込んでの話し合いが必要であることを痛感した



【第2回総合研究会事務部会】